

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

議 事 録

| | | |
|----------|--|--|
| 会 議 名 | 第4回 杉並区児童館等のあり方検討会 | |
| 日 時 | 平成18年4月17日(月) 19時00分～21時05分 | |
| 場 所 | 杉並区役所 第5会議室 | |
| 出席者 | 委 員 | 増山会長、菅原副会長、川村委員、能登山委員、野田委員、花井委員、吉開委員、中井委員、仁比委員、上原委員、加藤委員、重藤委員 |
| | 事 務 局 | [教育委員会事務局] 松岡庶務課長、吉田学校適正配置担当課長 [児童館] 岡崎成田西児童館主査、大浦堀ノ内東児童館主事、島田下井草児童館主事 [児童青少年課] 白垣児童青少年課長、小林康夫計画調整担当係長、阿部事業係長、林田管理係主査、横関児童館運営係主査、小林武彦事業係主査、土田管理係主事 |
| 傍聴者 | 3名 | |
| 配付資料 | 事 前 | 1 会議次第 2 児童館等のあり方検討会委員名簿2(資料2) 3 第3回検討会の主な意見と今後の検討の視点(資料17) 4 杉並区の主な子育て支援事業について(資料18) 5 学童クラブについてのアンケート集計結果(資料20) 6 その他の資料 (1) 第3回検討会議事録 (2) 杉並区子ども家庭支援センターのご案内(リーフレット) (3) みんなの子育てVOL.4(冊子) (4) 他区の小学校を活用した居場所事業の具体的な内容について(児童館・学童クラブに関する資料P39関連資料)【非公開資料】 |
| | 当 日 | 1 ゆうキッズ荻北(資料19) 2 乳幼児専用室の有無及び一日平均利用者数一覧(児童館・学童クラブに関する資料P9-1) |
| 会議次第 | 1 開会挨拶 2 資料確認 3 新委員等紹介 4 第3回議事録について 5 配布資料の説明 6 議題 ニーズに応じた特色ある児童館づくりについて 7 その他 | |
| 発 言 者 | 発 言 内 容 | |
| 1 開会 | | |
| 会 長 | 《開会挨拶》 | |
| 2 資料確認 | | |
| 児童青少年課長 | 《事前・席上配布資料確認》 | |
| 3 新委員等紹介 | | |

| | |
|---------------|---|
| 会 長 | 人事異動に伴う新委員の紹介をお願いします。 |
| 児童青少年課 長 | 《新委員紹介》 |
| 子ども家庭担当部長 | 《挨拶》 |
| 子ども・子育て計画担当課長 | 《挨拶》 |
| 児童青少年課 長 | あわせて、この検討会の事務局であります作業部会員のうち教育委員会事務局庶務課長が異動になりましたのでご紹介します。 |
| 庶務課 長 | 《挨拶》 |
| 4 第3回議事録について | |
| 会 長 | 議事録は議論を振り返るうえで大変役に立ちますし、また、議論の要素もつかめると思います。修正はありますか。 |
| 児童青少年課 長 | 事前に委員から1箇所修正のご要望がありました。4頁の下から4行目、「武蔵野市の職員の方」とありますが「武蔵野市にお住まいの方」と修正をお願いします。 |
| 会 長 | その他委員の発言についてはいかがですか。よろしいですか。 |
| | 《異議なし》 |
| 会 長 | 一部を修正し、第3回の議事録を確定いたします。 |
| 5 配布資料の説明 | |
| 会 長 | <p>前回から「ニーズに応じた特色ある児童館づくりについて」の議論に入っているわけですが、課題としては乳幼児親子のニーズ、学童保育問題、中高生問題など課題は多様です。それら全てが相互に関連していることはもちろんですが、どこからか切り口を決めて議論をしていかなければなかなか先に進みませんので、今回は年齢が下である乳幼児親子のニーズをどうするかということから議論に入りました。それらの内容については議事録に記録されていますが、その議論をもう一度整理することが必要だと思います。いつまでも乳幼児親子の居場所ばかりを議論しているわけにはいきませんので、前回の議論を引き継ぎつつ、その論点を整理・確認して、考え方の基本的な方向を詰めてみるということで今日は進めて行きたいと思います。</p> <p>前回の最後にいくつかの追加の資料要求がありました。それらも念頭に置きながら、前回の乳幼児親子の居場所づくりというものをもう一度整理して、議論を詰めていくということを今日の第一の課題としたいと思います。</p> <p>既にお送りいただきました資料17は、事務局の方で前回の長い議論を的確にまとめていただいたものになりますので、その説明を受けて、検討の課題と前回の議論を整理し直すということにしたいと思います。まず資料17の説明をお願いします。</p> |
| 児童青少年課 長 | 《資料17について説明》 |
| 会 長 | いずれも議論をしていかななくてはならない論点が挙げられましたが、その中で資料18、19との関係があるようですので、それらの説明をお願いします。 |
| 児童青少年課 長 | 《資料18、19について説明》 |
| 会 長 | 資料17に関連する資料が資料18・19ですね。 |
| 児童青少年課 長 | そのほかに、その他の資料として席上に配布させていただいた「乳幼児専用室の有無及び一日平均利用者一覧」をご覧ください。乳幼児の専用室が全ての児童館にあるわけではないということを改めて認識していただきたいと思います。専用室がない館が9館あるということと、専用室がある館についても広さを見てみると、 |

| | |
|------|--|
| | <p>広いところは80㎡を超えるのに対し、狭いところは10㎡に満たない状況です。児童館によってかなり格差があることがお解かりいただけると思います。また、専用室がない館、あるいはあっても狭い館については、一日の平均利用者数が少なくなっているということがお解かりいただけると思います。</p> |
| 会 長 | <p>前回のまとめを含めた資料の説明を、時間をかけてお願いしたわけですが、資料17を見ていただいて、主な意見と検討の視点について何かご意見がありますか。例えば、この論点が抜けているのではないかとかということがあれば出していただきたいと思います。特になければこの資料に沿って進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> |
| | 《異議なし》 |
| 6 議題 | |
| 会 長 | <p>それでは、資料17、18、19及び資料編9-1を念頭において、残った時間で乳幼児親子のニーズにどう応えていくのかということに対して、一定の方向を出したいと思います。議論の時間が無限にあるわけではないですし、学童保育の問題や中高生の問題など大きな問題もありますので、議論の方向を確認できれば、次の課題へ移って、そしてもう一度、乳幼児親子へ戻ってくるというようにしたいと思います。今日が決定ではなく、大きな方向性を確認するというようにして、次の課題を議論する中で修正等も出てくるとは思いますが、そうしたことも念頭に置きつつ、今日は一定の方向を確認したいと思います。</p> <p>それぞれの課題ごとに議論して確認していくわけですが、乳幼児の課題についてかなり時間をとっていると思います。時間をかけて議論してこのパターンでやっていくということがつかめれば、次もまた同じように議論が進むと思いますので、今日は方向を確認するところまで議論を詰めたいと思います。</p> <p>議論の順番ですが、資料17のテーマに沿って上からということによろしいでしょうか。</p> |
| | 《異議なし》 |
| 会 長 | <p>それでは、乳幼児専用館の設置についてというテーマから進めていきたいと思えます。主な意見はまとめてられていますし、そこから導き出される検討の視点も4点ほどあります。この4点を全体でつないでご意見いただければと思います。</p> <p>乳幼児親子の専用の施設をつくる必要があるのかないのか、ということが大きな争点だと思います。今の状況の中でうまく住み分けてやっていけば、ニーズに応えられるのか、それとも乳幼児親子のニーズにきちんと目を向けて、今ある施設条件の中で対応するというようにしていくのか、ということ議論していきたいと思えます。</p> <p>ただ施設をどう利用するという点だけにとどまらず、乳幼児を持つ親あるいは子どもたちにとって、何が必要なのかというところの議論も詰めなければならないと思えます。</p> |
| 委 員 | <p>乳幼児の機能、特に親のサポートという点から見たときに、日本全体の今の状況も含めて発言したいと思います。年々、子育て力・養育力が残念ながら若い親に限らず、歳をとってから親になる方も多くなってきていますので、親にとっては第一子の子育ては非常に大きな困難が伴う状況にあると思えます。杉並区の場合もこれだけ多くの親から居場所が求められている状況がありますので、一つは虐待防止ということと、できるだけ早いうちに地域に根付いていくという教育機能みたいなことについて、杉並区の児童館は大きな役割を果たしてきていると資料などから感じています。それは全体からすると孤立しない子育て、それから早い時期に親が子育てを地域に開いていくという習慣を獲得する、そういう意味でたいへん重要だと思います。</p> <p>それから資料18を拝見させていただきますと、保健センターや保育園などの他の施設で子育て支援など一定の機能を果たしてはいますが、例えば保育園で行っている一時保育もまだ5箇所定員が2～3名。緊急一時保育も最長1箇月までとい</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>うことですので、日常的に気楽に居場所としての機能を果たすまでにはまだなっていないと思います。これからますます養育力が低下し、子育てが困難な状況はそう簡単には改善していかないと思います。</p> <p>乳幼児や保護者にとって健康な子育てのスタートラインということを考えますと、スペースは苦しいですが、一つは日常的な居場所の機能として、乳幼児専用のスペースがないところやあっても狭いところ、利用者の多いところなどにおいても何かうまいパーティーの工夫とか空間的利用の工夫を含めて、ある程度自分の家の近所に居場所があり、なるべく早い時期に地域に登録してみんなで一緒に子育てをする習慣みたいなものを若い親が身につける環境ができればと思います。</p> <p>もう一つは、ある程度の専門性を持ったセンター機能が地域に一つあることが望ましいと思います。乳幼児専門館の話が出てきたときは、私個人としては素晴らしい事だと思いました。どうやったら養育力がアップしていくかということプログラム化していくことは難しくなっていくと思います。親自身の子育て力が下がっていきますので、そういう人たちをどうやって組織して、どういう相談・講座・教育機能を盛り込んでいけばいいか難しいことになっていきますので、ある程度の研究などができるようなセンター機能があってもいいのではないかと思います。</p> <p>確かに1箇所だけ乳幼児専門館があっても居場所としては地域的に要求を満たすことは難しいと思います。そういう機能だけではなくて、杉並区の様々ある子ども家庭支援センターや他のところも含めて、支援ということの全体的な専門性のある機能が備わった専門館があった方が、システムとしては続くのではないかと思います。この間も申し上げましたが「ゆう杉並」は中高生の居場所として全国的にも専門性の高い機能を備えた施設ですから、そういうことも方向性としてすぐにはできないにしても検討していただけたらと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>自分の子どもは小学生ですので乳幼児から少し離れてしまっていますが、児童館の子育てネットワークに参加したりしています。また、自分の子たちが児童館に通っていたときとか、小さいお子さんがいるお友達の話聞いていますので、少し話をさせていただきたいと思います。</p> <p>私は上の子と下の子を自転車のかごに乗せて、杉並区中を縦横無尽に走り回っていたので、児童館に行ってラックを見て面白そうなチラシがあればさっさと抜き取ってしまっていて、そこからどんどん自分で講座に行ったりして、かなりおもてに出ることができたと思いますが、お友達になった方ですとか私の傍にいた友人の様子を見てみると、同じ世代でもそこまでできる人と、できない人の格差がだいぶ広がっているようです。それがどうしてなのか友人と話をしたこともありました。</p> <p>昔、私が子どもだった頃には、夕方暗くなるまで家の前の道路で遊びまわっていました。今の子どもたちは、最近のいろいろな事件があったことを横においたとしても、道路で遊ぶということをあまり見かけることがありません。生活のことに言えば、お隣同士で中の良い同級生の子どもたちが周りにいれば、夕飯を誰かの家に食べに行ったり、夏休みになればお泊りごっこをしたりということがありましたが、今の子どもたちの世代を考えてみますと、お隣に住む人は誰なのかしらとか働いている方などもいらっしゃるので、みんなで話しあいをしたりとか、お互いに助け合うということがあまり見られないかなということ、今まで過ごしてきた中で思ったことがありました。この数年を考えただけでも、かなり違っている面があります。</p> <p>また外に出られる人間となかなか出られない人間がいます。外に出られない人はどうしているのかなと思うと、だいたいテレビや雑誌、便利なインターネットで情報を集めています。育児雑誌に首ったけになってしまっていて、これは保健士さんに聞きましたが、「うちの子どものオシッコが青くないです」という電話が実際かかってくるそうです。おむつの宣伝だとオシッコが黄色のイメージではなく、青色を使っていますよね。「うちの子は宣伝と違います」と、ほんとに真剣に電話がかかってくるそうです。育児書に1歳前後で立ち上がって歩けると書いてあると、「うちの子は1歳1箇月経っているのに立てないです。歩けないです」ハイハイをして伝え歩きをすると書いてあると、「ハイハイをしないで立っちゃいました」という</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>ように、専門書どおりに自分の子どもがいけないと、とても不安を抱えている親が多いということを実際聞くことがあって驚きました。</p> <p>児童館でも私が子どもたちを連れて行った頃は、まだゆうキッズというものはなくて、登録をしてその曜日に行き遊んで帰ってくるということをしていました。そのときは児童館が9時開館でしたので、10時とか10時半という早い時間から遊びに行き、お昼は食べるができなかったのでお昼の一時閉館になるまで遊んでいました。お弁当を持って来ていれば、そのまま公園に行きお弁当を食べ、そうでない人はお家に帰ってお昼を食べるといったそれぞれのスタイルがありました。</p> <p>児童館に行けばお友達ができるし、雨が降って行きたくないと思ってもそこに行けば誰かが待っているということがあります。また、登録制の時にはお当番制のように先生方がグループにしていたので、「私は今日お当番の日だから行かなくちゃいけない」ということもあり、いやだなと思うことがあっても、児童館に行けばそこで親子共々楽しい時間が過ごせるという感じでした。</p> <p>今は登録制ではなく、どなたでも遊びに来てくださいというようにやっていますが、どちらが良いのかというのは個々それぞれの判断だと思いますが、一つの児童館での事業一つとってもそれだけ格差が出ています。育児書・テレビ・インターネットに首ききになってしまっていてなかなか外に出られない。外に出て対話することが怖いということも伺ったことがあります。「自分が子育てに関してこう思っていて悩んでいる」と言ったときに「なんでそんなこともわからないの」と言われて傷ついてしまうことが怖くて外に出て行けないという方もいるそうです。</p> <p>一歩外に踏み出すことによっていろいろな世界が見えてくるのに、それすらできない人たちがいるというところに、この問題とはかけ離れているかもしれませんが、そういう人たちを外に連れ出してあげられるようなことから考えていかなければいけないのかなと思います。それらを踏まえて今後、乳幼児専門館があった方が良いとか、そうではなくて一時預かりがあった方が良いとかいうことを検討していく中で考えていただければ嬉しいと思います。</p> <p>私は、仲の良い人がいれば「今日は私が空いているから、あなたの子どもを預かります」ということができますが、今のお母さんたちは預かることはできても、自分の子どもを預けることができないようです。迷惑をかけたなら申し訳ないから、また「あなたのお宅のしつけはひどいわね」と言われるのが怖いからということがあって、なかなかお互いに、預かったり預けたりというようなことはできないようで、地域力の低下ということをとっても強く感じました。</p> <p>もう一点、児童館で子育てサロンをさせていただいたときに、「託児付です」とチラシに載せると、たくさんの方が申込みにきました。託児のお手伝いのスタッフはてんやわんやの状態ですけれども、子どもを預けてちょっと離れたたいというお母さんのニーズがとても高いと思いました。一昔前の私の母の時代は、お姑さんがいてその中で良い面悪い面を備えて子育てをしてきたと思いますが、今は核家族が増えていて、近隣とのつき合いもなく、実家は遠く、夫は会社が忙しくて帰ってこない、自分の子どもを見るのは自分しかない中で、どうしてもお母さんが中にもこもってしまうというのも実際多い問題なのかなと思います。</p> |
| 会 長 | 全体として専用館というか乳幼児を持った親のニーズをきちんと受け止めるという機能が、ますます重要になってくるということですね。 |
| 委 員 | これからその人たちが少しずつ大きくなって、小学生を持ち、中学生を持つようになることを考えますと、最初のところから固めていくというのは変ですが、導き出してあげるというのが重要ではないかと思います。 |
| 会 長 | いかがでしょうか。恐らく共感されている方も多いとは思いますが。 |
| 委 員 | 私はゆうキッズをお手伝いしておりますけれども、そういう親の姿もありますけれども、出会いとか皆さんで同じような年齢の子どもをかかえていて、隣の子を見てうちの子と変わらないと安心したり、ゆうキッズはすごく効果的だったと思います。というのは、一人だと不安ですけれども同じような子どもを見て安心して、30分 |

| | |
|------------|---|
| | <p>ないし1時間ですけれども、出会いの場所としても安心材料としても、息を抜ける場所としてゆうキッズはずいぶん活用されていると思います。地域に根付くということと、地域にデビューするということのきっかけ作りになると思います。</p> <p>この検討会で言っていきたいと思っていることは、器の中に入れて考えるとすごくいろいろな問題がありますが、今私は自然体験活動の中で活動していますが、ゆうキッズのお母さんの中にも体験したいとくる方がいます。自然の中の子どもを置いて、子ども達の様子を見ながらお互いにやりとりしてお母さんたちもそこで楽しんでいる状況もあります。</p> <p>今のお母さんたちは出会いの場所を求めています。小さい子どもの親たちの様子を見ていると出会いのところから人間関係が出来てきて、「お昼はどこかのお家で集まりましょう」とか「これから公園にまともって行きましょう」などお約束が始まって、そこから輪が広がっています。一度輪ができると児童館に行かなくても良いというようになります。</p> <p>2歳過ぎると、幼稚園では3歳保育がはじまり、そこに入れたいという希望を持つ親が増えてきます。というのは、手が離れるということもありますが、子どもの持つエネルギーを母親一人だけでは発散しきれないということを親たちは感じ、幼稚園に入れてみましょうという親が増えていきます。また英語教室や体操教室に入れましょうというようないろいろな動きが始まって、子どもが分散していきます。そうするとそこに入れたい親たちが「私一人で子どもを見ないといけない。どうしましょう」と悩む親の姿があります。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>今出されている意見は、ますます育児力が低下するであろうということですよ。子どもたちが遊ばない、そのまま大人になってコミュニケーションが上手くできない。そういう中で養育しなくてはいけないというように繰り返されます。そういうことを考えますと、育児力の低下に歯止めをかけないといけないと思います。</p> <p>それから一方で、そうしたものを支えていた地域力というものや地域とのかかわりも低下しています。そうした中で、児童館だけではないですが出会いの場がどうしても必要だと思います。そこがきっかけになって地域に目を開き、子育てに閉じこまらないそういうことが必要だと思います。</p> <p>そうすると検討の視点を見てみますと、乳幼児親子がゆったりと過ごせる余地はあるのかということと、一日ゆったりと過ごせるスペースを確保することの意義はあるのかということ。つまり居場所としての機能が非常に強調されていますが、今議論していることは居場所だけでなく、出会いの機能をどうつくるかということだと思います。そうすると、検討の視点をもう少し豊かにしていく必要があると思います。親と子がきて他の小学生に邪魔されずに、ゆっくり午後まで過ごす場所というイメージよりは、児童館に来たことによってきっかけが生まれ、児童館の中だけでなく外とのかかわりも広がっていくというような機能を児童館は持たなければいけないというように受け取りました。</p> <p>児童館でやれることは何なのかということを煮詰めていく必要があると思います。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>私は、2歳児の「おやこであそぼう！ニコニコくらぶ」というものと、3歳児の「ハッピーキッズ」という幼稚園に行っていないお母さん達で、母子分離をして楽しみましょうというのを保育士として実施していますが、他の委員が言われたことが本当にそのとおりだと感じています。お母さんたちはなにかに依存したいと思っています。とにかく安心したいのです。昔は言われていたように核家族ではなかったけれど、今は地域とのつながりがないにもかかわらず情報だけがたくさんある状況です。どの情報を自分らしく選択すれば良いのか、ものすごく悩んでいるのが手に取るようにわかります。</p> <p>なぜ私がこういう活動を始めたかということ、以前児童館でボランティアをさせていただいたときに、児童館の誰でも来てくださいというようにオープンになっていて、引越してきてすぐに参加できることは良いのですが、その中でグループができてきます。子どもつながりではなくママつながりでグループになったりします。そんな中でグループに入れなくてポツンと一人で立っているお母さんがます。この</p> |

| | |
|----------------|---|
| | <p>お母さんはおしゃべりしたいだろうと思いますが、絶対にそこに入っていけないというお母さんがいました。そういったお母さんたちは、上手くコミュニケーションが取れないようです。そういったところに児童館職員ではなく、子育て経験者で保育をかじったことがある方が、「どうしたの」とざっくばらんに声をかけることによって、こういった人たちが楽しく子育てできるようになるのではないかと思い、そういった会を始めました。</p> <p>今来ているお母さんたちは、自分の悩みをおもてに出しませんよね。お子さんを見てみると苦しいのがわかります。お母さんの苦しみが子どもに移ってしまっています。毎回、何でも書いて良いですよというお手紙を渡します。最初の頃は子どもの様子だけを書いていましたが、返事を書いて回数を重ねるにつれて心を開いてくれて、自分の悩みを書いてくるようになりました。警戒していたものが解きほぐれたというのがあります。聞くだけ聞いたりしながら、私の経験とか専門的な知識を親にアドバイスをしました。</p> <p>そういう中で児童館の機能というのは、誰でも参加が可能であるからこそ、お母さんたちが入り込めないこともあります。いきつくところは人的配置なのかなと思います。職員の方も気になっているようですが、でも違う事務とか全体の流れとかで、そのお母さんたちに「こっちでどうぞ」と言えない状況になっていると思います。そういったこともあり、職員以外で全体を見られる方が必要なのではないのでしょうか。アンケートの結果などを見ても、人的配置に関するところがいろいろ書いてあるのでそこは必要だと思います。</p> <p>私は専門館があった方が良いという委員のご意見に賛成です。やはりあった方が良くと思います。前回保健センターの話が出ていましたが、保健センターが一番最初に健診に行く場所です。立派な専門館があるのは嬉しいですが、お金のこともありますので保健センターでそういう機能を果たし専門の研究も行い、各児童館に発信していくという形になれば、少しは変わってくるのではないかと思います。</p> <p>保健センターと児童館が密接な関係と直接的なつながりをもつのも一つの方法ではないかと思いました。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>今現在、子育てネットの中で行政としては児童館・保健センターが参加しています。保健センターの健診時に児童館職員が伺って児童館を紹介させていただいたり、保健センターから児童館を紹介してもらうことは実際にやっています。また、健診時に少し気になる子どもについては、児童館を紹介してもらい連絡を頂いて相談を受けて児童館で受け止めたりということは実際やっていますが、それが十分に機能していないようです。</p> <p>実際にグループに入れないお母さんのことは気になっていて、もう少し話を聞いてあげたいというのはあります。ただ、プログラムを実施することに追われてそれ以上のことがなかなかできません。私が高井戸児童館にいたときには「子育て支援サークルぱお」さんという、子育てをされた方が一緒に入って来て、プログラムは職員がやりますけれども、おしゃべりは「ぱお」さんがしてくださいました。そういう形がどこの児童館でもとれたり、乳幼児専用館にいつでも行けることができ、職員だけでなくそういった方がいつでもいて、話を聞いてあげられるような機会がたくさんあると、お母さんたちにとってすごく良いと思います。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>今日はなるべく一定の方向にまで到達したいと思いますが、今の議論でいうと、これからますます乳幼児をもった親のニーズは高まり、それに対応していかないと、そのあとにいろいろな問題が出てくることが予想されます。最初のところできちんと親の状況に対応することが必要であると思います。そのためには、まず健診の第一歩である保健センターできちんと対応しなければならぬし、それと連動してその後の道筋を受け止めていくようなものとして、児童館が位置づけられなければならないと思います。</p> <p>それにしても、今の現状は乳幼児専用室の有無や広さなどは、9館には専用室がありませんし、広さに差があるという現状を踏まえると、どのように考えていけば良いのかということです。</p> <p>一つはセンター機能的なものをもつ、乳幼児親子のニーズを受け止めアドバイス</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>をどのようにやっていけば良いのかということ豊かに他の館に示していけるような、そういうものはどうしても必要だと思います。</p> <p>そうすると今ある児童館の中でどうやっていくかということですが、先ほどは人の問題も出ましたが、これには条件に限りがあるでしょうけど工夫は必要ですね。子育てが終わった親たちがボランティア的にかかわったり、NPOに協力を求めたりして、職員をカバーしていくとか一緒に子育て支援をしていくような工夫は必要だと思います。</p> <p>しかし現実には、今日の資料の乳幼児専用室の有無及び利用者一覧をみた場合には、それぞれの館が今のようなニーズをどう受け止めていくのかということですが、そこで前回の議論のまとめを見ると、午後もゆったりと過ごせるスペースを確保する意義があるのか、あるいはそういうスペースをどの程度整備すればよいのか、などなどあります。例えば、専用室がないところやあっても狭いところをイメージするとどうでしょうね。</p> <p>親のニーズは区内全域に共通であれば良いということですから。そこで委員にお尋ねしたいのですが、地域に根付くといったときの地域はどこまでを指すイメージになりますか。杉並全体になりますか、それとも日常生活圏になりますか。</p> |
| 委員 | アンケートで出てきた徒歩10分・自転車で10分という生活圏をイメージしています。 |
| 会長 | 杉並全体に一つそういう施設があってもそれだけではどうにもなりませんね。できればどこにでも必要だということになりますが、現実にはないところもあるし狭いところもあります。どうすれば良いですかね。 |
| 委員 | <p>高円寺中央児童館は資料によると専用室があるということになっていますが、図書室の3分の1を乳幼児コーナーにしています。クーラーもありませんので、今度網戸を設置する状況です。今は乳幼児親子がお昼の時間帯も利用してそのまま午後までいらっしゃいます。3時くらいまで赤ちゃんが出入りするの、図書室の中の乳幼児コーナーだけでなく、図書室全体を乳幼児親子が利用しています。小学生が入ってくると小学生が遠慮してしまいます。幼稚園の帰りに利用するお子さんは、幼稚園が終わった午後から遊びに来て遊戯室を使いたいということになると、小学生と時間交替で遊んだりしていますが、お互い十分に遊べない状況があります。</p> <p>午後遊びに来て幼稚園の子も遊べるスペース環境が欲しいという苦情や相談の声は、どこの児童館でもあります。</p> |
| 委員 | <p>私の近所の和泉児童館は乳幼児専用室があったはずですが、この会議室の3分の1か半分近い広さがありました。今はどうなってしまったかという中高生にとられてしまいました。結局、一つの箱を使い分けけるということは時間で区切るか、どちらかを犠牲にするしかないの、この先学童クラブの話や高学年の子どもの話に発展していくと思います。</p> <p>箱物は増やすしかないですよ、だめだとなれば。そこまでしなければならぬのかどうか、工夫はできないのかという話にいかねばならないと思います。</p> |
| 会長 | <p>今ある児童館の条件の中で工夫する余地はないのかということが一つですね。この資料では児童館の地域での配置がわかりませんから、どの地域に専用室があるのかわからないのかわからない部分がありますし、自宅から歩いて10分なり自転車で10分という距離にないと、なかなか専用館ができて利用ができないであろうというのを原則として考えたいですね。</p> <p>そうすると今ある児童館の中で専用室のあるなし、あるいはスペースの広さがどういうバランスになっているのかというのを見ないと、なかなかイメージしにくいと思います。ただ、考え方としては乳幼児専用のスペースはとらないと、そこが出发点ですよということですね。確かに学童の要求もあるし中高生の要求があるけれども、そのところを確保しないと児童館として機能が果たせないのではないのかという事態になっています。</p> <p>したがって、乳幼児親子の支援ができるような専門的なセンター機能を持つような施設を何箇所か置きたいというのは良いと思います。そうすると一様の課題に応</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>えるために41ある児童館をどうするのか、学童保育と普通の子どもたち、中高生という要求も出てきます。そうすると時間で住み分けるようにするのか、それとも施設条件を見て、ここは乳幼児の親子のためにかなり優先的に使えるようにするのかというところを詰めないといけないと思います。</p> |
| 委員 | <p>乳幼児のお母さんたちは、児童館に一日いなければならないのかということですがそうでしょうか。児童館は午前中空いていますからその時間を有効に使って、保健センターなどに来た人に呼びかけてはどうでしょうか。チラシを見てくるお母さんたちは心配ないですが、来ないお母さんたちに来てもらって話題の中に入れてもらうことが重要だと思います。週に一回でも月に何回でも良いですから、呼びかける時間帯をつくって、輪を作って広げていったら良いと思います。</p> <p>一日いられるお母さんはほっておいても良いと思います。そういう方は友達をつくることができますから。そういうお母さんよりも引っ込み思案の人で、呼びかけがあれば行ってみようかなという気持ちのお母さんたちにどうやって児童館として対応していただけるかだと思います。</p> <p>せっかく児童館に来たのであれば、遊ばせてくれるリーダーが欲しいですね。児童館職員はそう見ていられませんから。ボランティアでもいいし経験者でもいいですから、地域の人たちがそこに入れてもらって一緒に遊んでもらう。そういう呼びかけの方法もあるのではないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>私は時間で住み分けるしかないと思います。スペース的には全く足りない。ちょっと足りないというのではなく全く足りないということなので、時間で午前中は乳幼児が主流で午後はまた違う。一日いるというのはそこまで友達力と地域力のできたお母さんというのは、そこで知り合った方と児童館でなくても他の場所で「みんなと一緒に今度は別のところへ行ってみましょう」とか「このお友達のところに集まって、おやつパーティーやりましょう」ということができるお母さんだと思います。そういうことができない人をまず午前中に誘い出してきて、そこで基本的な友達力みたいなものをまず皆さんにつけてもらい、そこから新たな次の世界に出るためのステップにさせていただくのが一番良いと思います。</p> <p>それから先ほど人的配置のことが出ていましたが、児童館職員の異動する年限がすごく短くなっていると感じます。近くの松庵児童館の館長は2年間で交代になりました。その前の館長もたしか2年くらいで交替になりました。異動のシステムはわかりませんが、入れ替わりがすごく激しいと感じます。そうするとなかなか心を開いてその方に育児相談をしたり不安を漏らすというところまでの人間関係ができる前に次の新しい人に替ってしまうということになります。そうすると、もっと専門的なベテランの方を割り振るのでなければ、児童館の職員の方々がそこまで担うというのは難しい状況にあるのかなと思います。もう少し長くその地域に根付いた児童館の職員が出てきていただくと、また違った展望が開けるのではないかと最近感じました。</p> |
| 会長 | <p>一つは今ある児童館を全体的に見て、こうした乳幼児の親のニーズにきちんと応えてアドバイスができるセンター機能を持った児童館を一定配置することが必要な時代ではないのかということ。</p> <p>二つ目にはそれぞれの児童館が今ある条件を踏まえて、時間と施設状況を考えて住み分けるということをきちんとやらないといけないのではないのかということ。</p> <p>その間には一定条件がある児童館は、乳幼児親子が午後も使ってさらに活動を広げていくようなことも探ってみると、3段階に施設条件を見て、しかも歩いて10分なり自転車ですら10分というようなことを重ねてみると、どのような状況が浮かび上がってくるのかということを少し考えていただくことが一つです。</p> <p>もう一つは時間を住み分けて、例えば午前中乳幼児親子が使うとしても、ただ空間としておくだけではなくて、出会い機能、そこから関係が生まれて次につながっていく様々なサークルだとか、親たちの取組みだとか、そういう情報が入ってきたり、そうした人との接点が生まれてきたりするような専門的な支援ができる人を、児童館職員がやれるとすれば別ですが、やれないということであればそういうスタ</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>ツプを配置するという考えなければいけないと思います。既に子育てを終わった方々やそういう活動をされている方の参加も得ながら、考えていく必要があると思います。そういう意味で、時間を区切ったその時間はきちんと中身のアドバイスができるようにする。だいたいそのようなことだと思います。</p> <p>ただそれがうまくいくかどうかというのは、学童の問題とか議論してみないと解りません。とりあえず乳幼児専用館の設置についてというテーマはそこまでしておきます。残った時間は一時預かり問題に移りたいと思います。</p> <p>一時預かり問題は、先ほどの資料で保育園の一時保育や子ども家庭支援センター、幼稚園などで実施しているというのがわかりました。こうしたこととのかかわりであるとか杉並区の大きな方針である「ひととき保育」などを考えていくうえでどうでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>たまたま今日午前中にPTA協議会運営委員会がありまして、そこで小学生の居場所づくりについて情報交換会を長い時間をかけてやりました。そのときに感じたのは普段PTA活動をしないうお母さんたちが、割と人に預けるとい状況が生まれているようです。普段自分たちはやらないけれども預けてしまう。預けられる側がすごく不足している状況がどうも生まれているようです。確かに乳幼児をもつ親がリフレッシュすることは必要だとは思いますが、子どもとのかかわり方を学ぶのがまず先だろうと思います。子どもとの育児力みたいなものを学ぶ前にどんどん預かりますよ、子離れして預けてリフレッシュしてきてくださいということをお願いする段階で奨励してしまうのは、もしかしたら学齢期になった子どもたちを、預けるけれども自分はみないというお母さんたちを生むことになるのではないかという気がします。ベースに子どもとのコミュニケーション能力ができて、その上で子離れし、自分もリフレッシュして新しい気持ちで子どもと向き合うということで次の段階に預けるというようになれば良いと思います。あまり早い段階でそういうことを奨励しすぎるのはどうなのかなと思います。</p> |
| 会長 | <p>そうすると、親の一時預かりの場が欲しいというニーズの中身をもう少し詰めてみようと思います。そこのどこを児童館が受け止めるのかということですね。ここはどうでしょうか。切実に子どもを預けたいという要求は、児童館にもってくるものなのか、それとも保育園の一時保育などを広げていくのか。児童館が受け止めないといけないのかこのあたりはいかがでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>今の児童館の人員配置であれば全く無理だと思います。今の体制のままであれば保育園での実施が可能性としてはあるのではないのでしょうか。ファミリーサポートセンターでは預け預かりというシステムを実施しています。そういう形で進んでいけるので良いと思います。</p> <p>預ける方が良いのか悪いのかという議論になりますと、子どもを預けて夫婦で映画を観たいので預けましたという方もいらっしゃると思いますが、本当に預けたい人もいますのでそこまで議論しなければならないと思います。</p> |
| 会長 | <p>資料18の一時保育の利用状況やニーズの中身というのはわかりますか。</p> |
| 児童青少年課長 | <p>こちらに書いてある要件を満たせばどなたでも預けることができることになっていますが、それがどれほど切実なのか、今日預けないと明日虐待してしまうという状況なのかということまではわかりません。利用状況については、一時保育は先ほど説明したとおり1サポートセンターにつき2～3名ですが常に満員で、荻窪北保育園の10名についても満員です。当日になってキャンセルが出たりすることはあるようですが、予約の段階では常に満員ということだそうです。</p> <p>緊急一時保育については一園につき1名までの利用で、定数の外に枠を設けているので、それをさらに3～4名増やすことは不可能です。保育園の場合は待機児童もたくさんおられますので、それをまず解消するというのが先になりますので、ここに積み重ねるのは無理だと思います。</p> |
| 会長 | <p>一時保育の2～3名あるいは荻窪北保育園の10名の利用状況というのはわかりませんか。</p> |

| | |
|---------|---|
| 委員 | <p>たまたま私が1年間パートで保育園に行っていたときに、水害があり緊急一時保育の利用がありました。子どもにとっては急に親と引き離されるわけですからそれはたいへんでした。働きに出る場合だったら準備ができていて徐々に慣れていくのに、急にああいうことがあって子どもを預けるとなると、お母さんが恋しくて子どもが泣いてしまいますので職員が一对一で対応していました。</p> <p>先ほど保育園での一時保育は無理ですという話でしたが、たまたまパートで体験しましたが、やはり人的配置がないと無理だと思いました。たまたま緊急に1名入ると他の人は入れないですね。見ていて職員の方たちは本当に苦労されていると思いました。</p> |
| 委員 | <p>今の話で2～3名や1名という定員の枠を増やすというのは、人的な配置の問題ですか、それともスペースの問題ですか。</p> |
| 児童青少年課長 | <p>緊急一時保育については先ほど申し上げたように、定員の外に枠を設けていますので、人的配置と施設のスペースの問題ということになります。子育てサポートセンターの一時保育についても、保育園の一角を区切って借りていますので、もともとスペースに余裕がありません。それをさらに広げるとことは保育園のスペースを侵食することになりますし、待機児童もおりますので難しいと思います。</p> <p>どうしても現在の保育園の体制ではここまでが限界だと思います。</p> |
| 会長 | <p>保育所が一時保育なり緊急一時保育をする意味と、児童館で一時保育をする意味は違うと思います。建物の機能がそもそも違いますし、職員の役割が違いますから。ですから、一時預かりというものをもし児童館が受け止めるとすると、どういう視点で受け止めるのかということをもう少し深めて議論したいと思います。つまり、保育所で不十分なところを児童館で少し受けましょうということではないですから。逆に保育所の枠を広げたら解決するということでもないですから。</p> |
| 委員 | <p>乳幼児親子向けアンケート結果から子どもの一時預かりを望む声が多かったので、ここで議論しているわけですが、「プランニング∞遊」さんが発行された「みんなの子育て」は児童館ですごく活用しています。そこでも、一時預かりの記事を児童館、保育園、幼稚園の次に取り上げたというのは、それなりのニーズに応えてのことだと思います。</p> |
| 委員 | <p>私は直接この編集に携わらなかったのですが、最終的に出来上がったものを見せていただきました。この編集には「プランニング∞遊」もお手伝いをしましたが、区も呼びかけをしてやる気のあるやってみてみたいお母さんが集まって、お母さんの話し合いの中で掲載順序を決めたようです。</p> |
| 会長 | <p>今日の課題の三つ目テーマである「相談・教育機能の強化について」は、先ほど議論した一時保育などかかかわっていることですね。先ほどの議論の中でも乳幼児をもつ親のニーズの受け止めるとしても、まさに相談・教育機能そして子育て力を強化すること、あるいは子育ての不安や悩み、安心感に結びつくようなものを児童館はきちんとやっていかないといけないと思います。職員の体制の中でできなければ、何らかのサポートするようなことを考えていかなければならないと思います。</p> <p>一時預かりの問題については独自の問題ですので、もう少し時間の許す限り議論を進めたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>児童館側としてどの程度キャパシティというか専門性とスペースの問題ですけども、小さければ小さいほど非常に難しい問題ですね。実現可能性というのはどうでしょうか。ひととき保育を実施する施設として児童館が1館でも2館でも参加できるのでしょうか。1館でも参加するとしたら、どのくらいの工夫が必要なのかですね。</p> |
| 児童青少年課長 | <p>スペースの問題につきましては、委員の皆さんから意見が出されているように、現状の機能を維持して新たにこのスペースを生み出すことは、正直に申し上げまして無理です。ですから、乳幼児親子の専用スペースの確保と同様に何かの機能を犠牲にして、例えば学童クラブをどちらかに移すという形でしか、スペースは生み出せないと思います。</p> |

| | |
|---------|--|
| 委 員 | <p>普段の学期中であれば午前中に実施することができますよね、時間で区切って。夏休みは学童があるので無理だと思いますが。</p> |
| 児童青少年課長 | <p>時間で区切れれば、午前中だけということであれば可能かもしれませんが、そうしますとその時間でしか一時預かりの需要に応えられなくなります。</p> <p>スタッフについては、前回児童課長から説明があったかと思いますが、基本的に、区が掲げております行動計画に基くひととき保育、一時預かりというものは、区が直営で実施するという考え方ではなくて、専門性の高い事業者さんに場所を提供して、あるいは場所の提案まで事業者さんをお願いして、彼らの専門スタッフを張り付けてやっていこうという考え方です。児童館で実施するとしても区が直営するというのではなくて、場所を提供するという形になります。もちろん同じ建物の中でするので連携していくことになるかと思いますが。</p> <p>児童館が実施することの保育園との違いにつきましては、この間、昼休みに各児童館を回って乳幼児保護者にインタビューをしてきたのですが、その中で「保育園も含めた民間の空き店舗などと児童館の二つで一時預かりを実施するのであれば、どちらに預けますか」と聞いたところ、「やはり児童館」ということでした。「なぜですか」と理由を尋ねたところ「児童館は普段から行き慣れている、子どもも親も安心感がある」ということでした。「子どもを預けた瞬間に泣かれてしまったらなかなか離れがたい。もし児童館が選択肢の中であれば、児童館に預けたい」ということはおっしゃっていました。</p> |
| 委 員 | <p>子どもはものすごく敏感ですよ。はじめて見るものに対してはおびえたりということがあります。だからこそ児童館というのがお母さんたちの意見であると思います。先ほど時間で変えたらどうですかという意見がありました。午前中は学童クラブ室が空いているわけですから、その時間を利用すれば良いのではないかと考えていました。児童青少年課長から時間が限られてしまうという話がありましたが、それでも良いのではないかと思います。もし児童館で実施するのであれば、行き慣れたところが良いし、子どももいつも見慣れたところでないと泣くかもしれませんが、「ここのおもちゃで遊んだことがあった」という記憶の奥底から覚えていますので大丈夫だと思います。親の安心感から考えると、行き慣れたところが良いし、学童は早い曜日は午後1時前後に帰ってくると思いますが、それまでの時間だけでも利用できるのであれば、区として一時預かりを21年度までの目標として10箇所実施となっているのであれば、直営ではないと言われましたけど、利用者である親の気持ちに立てば、もう一回立ち戻っていただけて考えていただければと思います。</p> |
| 会 長 | <p>学童保育のスペースは子どもたちが帰ってくるまで空いていますよね。</p> |
| 委 員 | <p>たまに子育てネットの会議などで利用していますけれども。</p> |
| 委 員 | <p>2時間あったら美容院に行ったり、自分のお医者さんにかかるのも2時間ぐらいあれば行くことができますよね。それが大事ではないでしょうか。どこかに遊びに行くことよりも切実だと思います。</p> |
| 委 員 | <p>学童保育もそうですが、今は年齢別に時間別に意図的に分けていますが、子どもは赤ちゃんから小学生・中学生ぐらいまで一緒に遊べるような環境というのは必要だと思います。大人が時間で区切ってしてしまうのでそういうのがあたりまえになってしまい、小学生ぐらいの子どもが小さい子どもがいても飛び回って自分たちの遊びをしてしまうというのが現状ですけれども、そういうのが混成できるような仕組みがあれば良いと思いますが現状は違います。ただ、そこまで児童館の職員に要求するのは、あの状況では難しいと思います。</p> <p>人的配置をどうするのか、それからもし乳幼児を受け入れるとしたら設備としてのどの程度まで拡張していけるのかというのを考えていかないと解決できないと思います。</p> |
| 委 員 | <p>一つずつバラバラにパズルのように組み合わせても答えは出ないと思います。委員がおっしゃったようにずっと引っかかっていました。なぜ、保育を児童館でやら</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>なければいけないのか。直営ではなくて民間で、箱物の提案も含めて受け付けたいというのは場所を増やす話だけであって、児童館をどうするかということではありません。児童館で実施するメリットというのは、今日の議論で私なりに理解したのは、児童館というのは親も子も入るということですね。親と子が一緒に何かするという事です。子の部分がもっと縦に広がっても良いわけで、ただ、スキルはあげなければなりませんね。職員の数ももう少し必要かもしれませんが、とにかくスキルをあげなければならない。</p> <p>大家族の親が、子どもが7人も8人もいた中で、ぐちゃぐちゃになっても育てるということを児童館がやれば全部解決すると思います。そのスキルをあげるためにどうお金を使うかということだと思います。例えば専門性のある職員とか先ほどのセンターの話につながりますが、そこがスキルコントローラーになって、児童館職員が、時間を延ばして働くというのではなくて、一人ひとりがもっとスキルの幅を広げて対応していくことができれば、もちろん専門性を持った人がいろいろな所に、てこ入れに入るといったことが必要かもしれませんが、できるような気がします。</p> |
| 児童青少年課長 | <p>児童館でも、先ほどからご指摘のような専門的な相談に対応できる能力、あるいは人間関係をコーディネートできる能力がますます重要になってきており、高めていかなければいけないという認識は課題として持っています。</p> <p>ただやはり、皆さんおっしゃられるように目の前の学童の人数が増えていますし乳幼児のプログラムも充実させてきました。やらなければいけないことが日々多すぎて、なかなかそこに精力を注げないというのが現実だと思います。</p> |
| 委員 | <p>養育力も低下していますけれども、子どもたちのコミュニケーション能力も低下していて、他の学年と遊べない、他の人たちと交流までいかない、その解決に追われていて、その段階ではないという感じです。子どもの安全が脅かされている中で、子どもも親も児童館に集中してくる。そして学童も今までは入れなかったけど、入れるようになって人数が増えて、限界というか一杯一杯というのが実感です。</p> <p>児童館が終わってから燃え尽き症候群なりませんかといわれたように、どこも目の前に追われて何とかやっているけど、前が見えないというような状況で、さらに子どもも親の状況もどんどん悪くなっている。どうしたら良いのかというのが現状です。</p> |
| 委員 | <p>一時保育は親が参加することに覚悟を持ってもらって、自分が預ける代わりに大丈夫なときは預かるということを前提に受け入れることができないものですかね。</p> |
| 委員 | <p>神戸の児童館で実際やっているというのをインターネットで見ましたが、そこは昔のお当番みたいな形で、何人かがプログラムをやって、それ以外のお母さんは1時間でも2時間でも家に帰っても良いというのを週一回やり、次の週は別の人が交替するそうです。非常に好評だというのは聞いたことがあります。</p> |
| 委員 | <p>杉並でも母親クラブが以前はそういう担い手になっていましたよね。</p> |
| 委員 | <p>3歳児のプログラムをやるときに母子分離するけど、下の子を母親クラブの方が預かって、その間お母さんたちが話し合いに専念できるというのがあります。</p> |
| 会長 | <p>ひととき保育の預かりの中身が、保育所が実施している緊急一時保育とか一時保育という質のレベルのものが不足しているから児童館で条件をつくって、NPO法人や社会福祉法人に委託して受け止めていくと考えるのか、そうではなくて違う視点で預かるのか。つまり親が預けるだけでなく、きちんと子育てをしていくという意識を持たせる入口として、一旦預かりながらその親の子育て力を高めていくということを投げ帰していく一つの仕組みとして、学童クラブが空いている時間を活用しても良いし、その他の経験のある方の協力を求めても良いし、親同士がお互いに預ける仕組みを組織するも良いので、児童館らしいやり方での一時預かりというものを実践的に実施していくことだと思いますがどうでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>覚悟を決めて預けた親は覚悟があるわけですから、そこにスキルを乗せれば良いのではないのでしょうか。お互いの子どもを預かるというのはそういうことですよと乗せていけば。</p> |

| | |
|----------|---|
| 委 員 | <p>松ノ木児童館にいたときに、とにかく親のニーズはおしゃべりをしたいというのが聞き取りの中でありました。そこで30分とか時間を決めてその間職員が子どもたちを見ていて、お母さんたちがお茶を飲みながらおしゃべりをするという「ホットちょこ」というのを企画しました。本当は職員が見るだけでなく地域の方々に見るところを委ねたり、お母さん同士が交代で見れば良いのですが、実際はなかなか担い手が育たないというか出てこなくて、月に二回ぐらい職員が子ども向けのプログラムをやって、その間に親がお話するというのがありました。</p> <p>私は今高円寺ですが、携帯で「今日ホットちょこ松ノ木でやるから、来ない？」と高円寺にいるお母さんにかかってきて、そこから出かけるという方がいます。お母さんたちのニーズはあると思います。そういう形であれば出来ると個人的には思います。</p> |
| 会 長 | <p>一時預かりについては、今のようなところを押さえるところまでですかね。次に時間の関係で、三つ目のテーマである「相談・教育機能の強化について」はいくつか出されていますが、だいたい今まで話をしてきたことと重なります。付け加える視点とか、独自の発言があればお願いします。</p> <p>これは積極的にやっていくというのは、今までの議論の流れの中でありましたので、講座のような形でやることも必要でしょうし、あるいは他の機関との連携の中でやるとか、あるいはNPOなどの企画するものに積極的に参加するというようなことだと思います。</p> <p>学童クラブに関しては一番大きな問題です。スペースの関連もありますし、児童館機能の選り分け方もそうですので、最後に資料だけを説明してご自宅で考えてきてもらい、次回の集中課題にしたいと思います。</p> |
| 児童青少年課 長 | 《資料20について説明》 |
| 会 長 | <p>今回は学童保育の問題を集中的に議論したいと思います。学童クラブのアンケート結果などを良く見ておいていただきたいと思います。</p> <p>以前頂いた資料で学童クラブと学校の位置関係は説明していただきましたが、今後は、杉並のどこに児童館があって学校があって、どこに空き教室があって、どの児童館はスペースが広くて、どこは老朽化しているというように全体が見えるもので考えていかなければなりません。情報を付け加えていただくとわかりやすいと思います。</p> |
| 児童青少年課 長 | <p>ホワイトボードなどに大きく印刷した地図を貼り出すような形で、空教室があるとかないとかわかりやすく色分けしたものを用意したいと思います。</p> <p>また、次回に向けて追加の資料は必要になりますでしょうか。</p> |
| 委 員 | 民間委託に向けた16年度の検討会の報告書をお願いします。 |
| 委 員 | 先ほどの地図の中に、保健センターの位置も書き加えていただきたいと思います。保育園もそうですけど。 |
| 児童青少年課 長 | 保育園を全て入れると見にくくなりますので、一時預かりを行っているところだけ書き加えたいと思います。 |
| 7 閉会 | |
| 会 長 | 《閉会挨拶》 |